注意 斑点米カメムシ大量発生に備えて!!!

近年の平均気温の上昇に伴い、今年も斑点米カメムシの**発生量増加**が懸念されます。
きめ細やかに水田の見回りや観察をおこない、**迅速**で**適切**な**防除**をしましょう。

昨年発生した斑点米カメムシ

※写真は神奈川県農業技術センターより



アカヒゲホソミドリカスミカメ



ホソハリカメムシ



イネカメムシ

発生数は
例年の 10 倍以上！！



斑点米カメムシに吸汁された米



防除のポイント！

①適期の薬剤散布

① 出穂7日～10 日後に薬剤散布！

②出穂から 21 日後の2回散布がオススメ

粒剤の場合スケジュール例

田植	出穂期	①	②
6月下旬	8／16	8／23～8／26	9／7～9／10
6月上旬	8／10	8／17～8／20	8／31～9／3

フロアブル剤・乳剤の場合は、出穂 10 日後、24 日後の2回散布をしましょう。

お問い合わせは、
お近くの営農経済センターまでお願いいたします。

②雑草管理の徹底　～出穂 10 日前までに雑草防除！～

斑点米カメムシは、水田周辺の畦畔や休耕田などにもたくさん潜んでいます。
徹底的に雑草除去をおこない、増殖・飛来源を減らしましょう。

カメムシに吸汁された米は“斑点米”となり、“落等”の原因に・・・

米の品質検査における着色粒の許容限度

1,000 粒に1粒以内→一等米
1,000 粒に2粒以上→二等米へ落等
1,000 粒に4粒以上→三等米へ落等
1,000 粒に8粒以上→規格外

斑点米カメムシの発生が多かった5・6年産米では一等米比率が大きく低下しました。